

発展練習問題 11-3

<解答>

問 1

切削部門費 : 656,320 円

組立部門費 : 793,280 円

問 2

製造部門費配賦差異 : 9,600 円の借方差異

【解説】

問 1

発展練習問題 10-3 と同様に、最終的に問われているのは切削部門費と組立部門費だけだが、製造間接費部門別配賦表が与えられていないため、自分で製造間接費部門別配賦表を作成するか、所定の計算プロセスに基づいて自分で計算を行う必要がある。しかし、各部門の部門個別費及び部門共通費は資料 1 で与えられているので、発展練習問題 10-3 よりは易しい問題になっている。

部門共通費の配賦

○工場建物の減価償却費 (480,000 円)

- ・切削部門 $480,000 \times 760 \div (760 + 880 + 210 + 70) = 190,000$ 円
- ・組立部門 $480,000 \times 880 \div (760 + 880 + 210 + 70) = 220,000$ 円
- ・修繕部門 $480,000 \times 210 \div (760 + 880 + 210 + 70) = 52,500$ 円
- ・工場事務部門 $480,000 \times 70 \div (760 + 880 + 210 + 70) = 17,500$ 円

●福利厚生施設費負担額 (150,000 円)

- ・切削部門 $150,000 \times 16 \div (16 + 24 + 8 + 2) = 48,000$ 円
- ・組立部門 $150,000 \times 24 \div (16 + 24 + 8 + 2) = 72,000$ 円
- ・修繕部門 $150,000 \times 8 \div (16 + 24 + 8 + 2) = 24,000$ 円
- ・工場事務部門 $150,000 \times 2 \div (16 + 24 + 8 + 2) = 6,000$ 円

第 1 次配賦前の各部門の部門費

- ・切削部門 $282,000 + 190,000 + 48,000 = 520,000$ 円
- ・組立部門 $308,000 + 220,000 + 72,000 = 600,000$ 円
- ・修繕部門 $123,500 + 52,500 + 24,000 = 200,000$ 円
- ・工場事務部門 $106,100 + 17,500 + 6,000 = 129,600$ 円

第1次配賦

- ・ 修繕部門費を切削部門へ配賦 $200,000 \times 19 \div (19+26+5) = 76,000$
- ・ 修繕部門費を組立部門へ配賦 $200,000 \times 26 \div (19+26+5) = 104,000$
- ・ 修繕部門費を工場事務部門へ配賦 $200,000 \times 5 \div (19+26+5) = 20,000$
- ・ 工場事務部門費を切削部門へ配賦 $129,600 \times 16 \div (16+24+8) = 43,200$
- ・ 工場事務部門費を組立部門へ配賦 $129,600 \times 24 \div (16+24+8) = 64,800$
- ・ 工場事務部門費を修繕部門へ配賦 $129,600 \times 8 \div (16+24+8) = 21,600$

第2次配賦

◇ 第1次配賦で配賦された修繕部門費（21,600円）を切削部門と組立部門にのみ配賦

- ・ 修繕部門費を切削部門へ配賦 $21,600 \times 19 \div (19+26) = 9,120$
- ・ 修繕部門費を組立部門へ配賦 $21,600 \times 26 \div (19+26) = 12,480$

◆ 第1次配賦で配賦された工場事務部門費（20,000円）を切削部門と組立部門にのみ配賦

- ・ 工場事務部門費を切削部門へ配賦 $20,000 \times 16 \div (16+24) = 8,000$
- ・ 工場事務部門費を組立部門へ配賦 $20,000 \times 24 \div (16+24) = 12,000$

以上の計算より、切削部門費と組立部門費は次のようになる。

☆ 切削部門費

$$282,000 + 190,000 + 48,000 + 76,000 + 43,200 + 9,120 + 8,000 = 656,320 \text{ 円}$$

★ 組立部門費

$$308,000 + 220,000 + 72,000 + 104,000 + 64,800 + 12,480 + 12,000 = 793,280 \text{ 円}$$

《参考》

製造間接費部門別配賦表を作成した場合、次のようになる。

製造間接費部門別配賦表 (単位：円)

摘 要	合 計	製造部門		補助部門	
		切削部門	組立部門	修繕部門	工場事務部門
部門個別費	819,600	282,000	308,000	123,500	106,100
部門共通費					
減価償却費	480,000	190,000	220,000	52,500	17,500
福利厚生施設負担額	150,000	48,000	72,000	24,000	6,000
部 門 費	1,449,600	520,000	600,000	200,000	129,600
第 1 次配賦					
修繕部門費	200,000	76,000	104,000	—	20,000
工場事務部門費	129,600	43,200	64,800	21,600	—
第 2 次配賦				21,600	20,000
修繕部門費	21,600	9,120	12,480		
工場事務部門費	20,000	8,000	12,000		
製造部門費	1,449,600	656,320	793,280		

問 2

問 1 より実際発生額、問 2 の問題文より予定配賦額がそれぞれ明らかになるので、切削部門と組立部門の配賦差異はそれぞれ次の通りである。

○切削部門 予定配賦額 660,000 > 実際配賦額 656,320 3,680 円の貸方差異

●組立部門 予定配賦額 780,000 < 実際配賦額 793,280 13,280 円の借方差異

したがって、両者を相殺すれば製造部門費配賦差異は 9,600 円の借方差異となる。